

健康ってAなあ新聞

責任編集
長谷川勝士
(はせがわ鍼灸院)

1950年生まれ・姫路市出身
駒澤女子大学非常勤講師
(コミュニケーション論)
鍼灸師(社)日本鍼灸師会会員



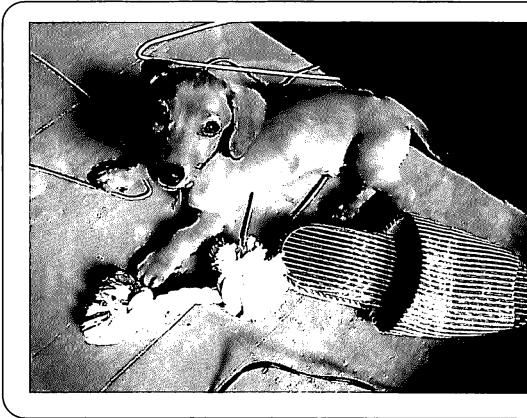
まさか私が癒されるとは！

■さん太が我が家にやって来た

昨年(2009年)のクリスマスの日、生後2ヶ月の仔犬が我が家にやってきました。

犬と一緒に暮らそうと思った動機はいたつて不純。20年前、ある出版社と「ジャングルポケット」を童話化する約束をし

犬種…ミニチュアダックスフンド
名前…クリスマスにきたので「さん太」
性格…人懐っこくて凶暴
趣味…スリッパと靴下をかじること



ていました。「ジャングルポケット」というのは、25年前にNHKの「おかあさんといっしょ」という子供番組のために私が作詞した曲で、なぜか大ヒットしてしまい、すぐに童話化しようという話になったのです。

出版社の担当はK氏。ところがナマケモノの私は多忙を理由に1ヶ月延ばし、1年延ばし、3年延ばし。人のいいK氏は「先生、いいものができるまで待っていますから」と、で、いまだに書いていない状態。むむむ、20年も放りっぱなし?!(タラ〜汗)

■さん太よオレに書かせてくれ

昨年の暮れに、いきなりK氏から電話が。「お久しぶりです、Kです」。いきなりですから私もビックリ。「ご無沙汰しています」と言っのが精一杯。そこでK氏の一言「先生、できましたか?」。ガビ〜ン!なんと20年前の約束を覚えていたんですね。「いや、あの、もうちょっとなんですが」。ウソつけ!一枚も書いてえへんやんけ!

「ジャングルポケット」は、ライオンやキリンなど、いろんな動物が登場する話。20年も経っているのにモチベーション(動機付け)が必要と考えた私は「そうだ、ライオンやキリンは無理だから、犬を飼

おう!」(↑短絡思考)。そこで、我が家に来てきたのが、さん太であります。

■バカ犬さん太の「梅酒事件」

いよいよ仕事に取りかかったそのとき、恐れていた事件が発生したのであります。現場はワタクシの仕事場。被害者はワタクシが清水の舞台からパランチュートで飛び降りて買った新しいパソコン。犯人はさん太。

ある日の夜中、改心したワタクシは原稿を書いていたのですが、さん太はいつものようにワタクシの履いている靴下を噛んで遊んでいました。そのうち段々とパソコンが上がってきたよついで、梅酒の入ったグラスを片手にキーを叩いていたワタクシの膝の上に登ってきたのです。キャワイイ!

最初はお鼻でマウスをツツツン。「だめだめ、このマウスはキミのじゃない。ミツキーマウス」と余裕をかましていたワタクシ。マウスを取り上げられたさん太はふくれて熊のプーさん。そして悲劇が!興奮しきったバカ犬は、その長〜い顔で梅酒のグラスを、た、た、た、倒したのです!パソコンの上にネチネチの梅酒がドバ〜!

「このバカ犬!」と、怒鳴るドダック。慌ててキーボードの上を流れる梅酒を拭きまくる。必死でパソコンを洗い、乾かし、組み立てなおし、キーを叩くが、文字は出さずニートン。

書きかけの原稿、すべて消えたあああ。さあ、いよいよ追い込まれた長谷川先生、3枚のカード、これにする?「ギブアップして、K氏に謝る」、「ギブアップして仮病を使う」、「ギブアップしてさん太と逃げる」、3枚ともギブアップやんけ!

そんな目にあっても可愛いのはなぜ?それは...家族だから。

ハリハリくん vol.12

犬飼った人がやること その1

「おチノチガ...」

犬飼った人がやること その2

服を着せななな。

犬飼った人がやること その3

おひゃんこおひゃんこ。